

令和6年度事業計画

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

○ 概 要

令和6年1月1日、石川県の能登半島で最大震度7の「能登半島地震」が発生し、240名以上の方が亡くなられるとともに、ライフラインが寸断され、多くの方が避難生活を余儀なくされる甚大な被害が出ました。

一方、1月2日には羽田空港で航空機の衝突事故が発生するなど、令和6年は波乱の幕開けとなりました。

さて、シルバー事業においては、昨年5月12日に公布されたフリーランス法（特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律）の制定を背景として、厚生労働省からも取引の適正化や就業環境の整備などが求められ、シルバー人材センターの現行の契約方法の見直しに関する方針が示されました。

今後、同法への的確な対応を図るべく、当センターとしても新たな契約方法への円滑な移行を図れるよう見直しを進めてまいります。

また、コロナ禍を契機として社会全体のデジタル化が急速に進んでおり、当センターにおいても事業の活性化や業務の効率化等の観点から、デジタル技術の活用は避けて通れない課題となっております。

このため、スマートフォン等のデジタル操作に不慣れな会員の相談等に応じるため「デジタル環境利用相談窓口」を設置するなど、会員の情報格差の解消に努めてまいります。

一方、シルバー事業の根幹である会員については、定年延長や継続雇用制度の普及等に伴い、若年層の新規会員の加入が減少しているため、「会員の拡大」が重要課題であり、「女性の会（ひまわり）」と連携し、会員の拡大に向けて取り組んでいくほか、会員の就業先の選択肢を拡大するため、就業開拓を継続してまいります。

センターは、単に高齢者に就業機会を提供するだけでなく、地域社会の活性化を図るため、今年度も兵庫県シルバー人材センター協会等と連携し、次の事業を実施してまいります。

1. 高齢者の就業に関する情報の収集及び調査・研究 （公 1）

- (1) シルバー人材センターの機関情報誌「月刊シルバー人材センター」やインターネットを有効活用し、他市のシルバー人材センターで取り組んでいる活動や好事例等の情報収集を行い、参考となる新たな事業の調査研究により事業の拡大に努める。
- (2) 会員の資格・能力・希望などを分析及び検討するとともに、就業開拓推進員を配置し、会員と就業先とのニーズに合った情報の収集に努める。

2. 高齢者の就業機会の確保及び提供 （公 1）

- (1) 民間事業所、一般家庭、官公庁等に対してセンター事業の PR 活動を推進するとともに、会員の豊かな知識や経験等が活かせるなど希望に沿った仕事を開拓し、就業機会の確保及び提供に努める。
 - ① 市の広報誌「広報みき」に会員募集等の記事を掲載
 - ② センターだより「シルバーみき」を発行（年 3 回）
 - ③ チラシ等の新聞折込み（年 2 回）
 - ④ ホームページを活用した啓発・広報活動
- (2) 受託事業による契約金額の目標を 4 億 750 万円とする。
又、兵庫県シルバー人材センター協会三木市事務所の運営による一般労働者派遣事業の契約金額の目標を 6,500 万円とし、合わせて 4 億 7,250 万円を事業開拓目標とする。

職業分類別事業開拓目標

【請負】

（単位：人・円）

仕事の分類	民 間 事 業		公 共 事 業	
	延人員	事業収入	延人員	事業収入
事務的職業	200	1,000,000	50	200,000
販売の職業	250	1,400,000	—	—
サービスの職業	11,500	57,000,000	14,500	59,000,000
保安の職業	1,500	13,000,000	2,500	5,600,000
農林漁業の職業	2,000	25,000,000	100	1,000,000
生産工程の職業	3,500	27,000,000	—	—
輸送・機械運転の職業	—	—	150	500,000
建設・採掘の職業	50	300,000	—	—
運搬・清掃・包装等の職業	34,000	158,500,000	14,200	58,000,000
合 計	53,000	283,200,000	31,500	124,300,000
総 合 計	延人員 84,500 人		事業収入 407,500,000 円	

【派遣】

(単位：人・円)

仕事の分類	民 間 事 業		公 共 事 業	
	延人員	事業収入	延人員	事業収入
販売の職業	250	1,500,000	—	—
サービスの職業	850	4,000,000	—	—
農林漁業の職業	300	2,500,000	—	—
生産工程の職業	600	3,500,000	—	—
運搬・清掃・包装等の職業	10,500	53,500,000	—	—
合 計	12,500	65,000,000	—	—
総 合 計	延人員 12,500 人		事業収入 65,000,000 円	

3. 有料職業紹介事業の実施 (公1)

兵庫県シルバー人材センター協会の実施事務所として、雇用による臨時的・短期的又はその他の軽易な業務に係る就業を希望する高齢者に対し、有料の職業紹介を実施する。

4. 安全・適正就業の推進 (公1)

安全就業は高齢者が就業するうえで最も重要な課題であり、「安全はすべてにおいて優先する」という意識の徹底を図り、会員の就業中や就業途上での事故防止に努める。

- (1) 安全・適正就業強化月間（7月）に合わせ、「安全・適正就業推進大会」を開催し、会員の安全意識の向上を図る。また、就業途上の交通安全についても高い意識を喚起するため、「交通安全講習会」を開催する。
- (2) 安全・適正就業委員会による就業現場への安全パトロールを実施する。
- (3) 会員の多様化する就業形態については、関係法令を順守するとともに、ワークシェアリングやローテーション就業を実施し、適正就業の推進に努める。

5. 就業相談等の実施と入会の促進 (公1)

- (1) 毎月第3木曜日の「就業相談日」は継続的に実施しながら、随時、センター窓口や電話等で就業に関する相談に応じ、一人でも多くの会員が就業できるようミスマッチ解消に努める。
- (2) 入会を希望する高齢者を対象に入会説明会を開催し、センターの基本理念や就業のしくみ等の説明を行い、入会の促進に努める。
 - ① 定例入会説明会（毎月第1・第3水曜日）
 - ② 女性専用入会説明会（毎月第2水曜日）
 - ③ 出前入会説明会（各公民館等）

- (3) 夫婦会員等の「会費割引制度」を継続し、入会促進に取り組む。

6. 組織の充実と活性化 (公1)

- (1) センター組織の活性化に向けて、センターと会員間の連携を図るコミュニケーションツールとして、「Smile to Smile」を導入し、業務の効率化を図るとともに、会員への情報提供の円滑化を図る。
- (2) 会員のデジタル機器の利用促進を図るため、「デジタル環境利用相談窓口」をセンター内に設置する。

7. ボランティア活動の推進 (公1)

地域社会への貢献の一環として、美嚙川リバーサイドパーク等の清掃ボランティア活動を実施し、センターの普及啓発に努める。

8. 各種講習会等の実施 (公1)

就業に関する知識や技能向上の取得及び安全就業など、会員の資質向上を目的に各種講習会を実施する。とりわけ、女性の会（ひまわり）と連携し、女性に好まれる講習会等の実施により女性会員の拡大に努める。

9. 公益社団法人の適正運営 (法人管理)

- (1) 理事会及び総務委員会を中心に公益法人として適正に対応できる知識や情報を収集するとともに、センター事業の安定的な運営に向けて財政基盤の整備に努める。
- (2) 適正な会計処理体制を確立し、会計事故の未然防止を図るため、公認会計士事務所による巡回監査（年2回）を実施する。
- (3) 会員がフリーランス法の保護を受け、安心・安全に就業できる環境を整備するため、センターの契約方法の見直しを検討する。

事業計画

開催月	内 容
令和 6 年 4 月	令和 5 年度決算監査 第 1 回理事会
5 月	令和 6 年度定時総会 「シルバーみき」発行 第 130 号
6 月	第 1 回安全・適正就業委員会
7 月	安全・適正就業推進大会
8 月	第 1 回総務委員会 第 1 回広報委員会
9 月	第 2 回理事会 「シルバーみき」発行 第 131 号
10 月	第 2 回安全・適正就業委員会 清掃ボランティア活動
11 月	第 2 回総務委員会 会員研修旅行
12 月	第 3 回理事会 第 2 回広報委員会
令和 7 年 1 月	第 28 回会員作品展 「シルバーみき」発行 第 132 号
2 月	第 3 回総務委員会 心肺蘇生法（AED 使用）講習会
3 月	第 3 回安全・適正就業委員会 第 4 回理事会 第 3 回広報委員会 交通安全講習会

- * 新入会員説明会 …………… 毎月第 1・第 3 水曜日に開催
- * 女性専用説明会 …………… 毎月第 2 水曜日に開催
- * 出前入会説明会 …………… 7 月及び 12 月に開催
- * 就業相談日 …………… 毎月第 3 木曜日に実施